

- ▶ 長野県では、森林経営管理制度における森林管理の担い手となる「意欲と能力のある林業経営者」を育成するため、経営管理、労働安全技術等に関して幅広く行う「集合研修」と事業体毎の課題に合わせてきめ細やかに行う「個別研修」を実施。
- ▶ 令和2年度は全3回の集合研修と、個別研修は公募により5事業体に対し、高性能林業機械のメンテナンス、経営力向上セミナー、能力評価制度等の研修を実施。
- ▶ 令和2年度は、労働安全にポイントをおき、集合研修では「チェーンソーの学び直し」「建設業における労働安全」等を実施。
- ▶ 令和3年度は、引き続き労働安全にポイントをおき、新たに導入した訓練機器等を活用してより効果的な研修となるよう取り組む。

□ 事業内容 (令和2年度)

1 集合研修 (セミナーの開催) の実施

- 第1回「業績改善ツールとしての能力評価制度」(31名)
- 第2回「建設業に学ぶ 労働災害撲滅に向けた取組経過と成果」(21名)
- 第3回「JLCを現場で活かす」チェーンソー作業の安全行動と技術」(18名)

【実績】全3回 合計 70名参加

2 個別研修の実施等

- 各事業体の課題解決のための研修 (上限50万円まで支援)
高性能林業機械メンテナンス研修、能力評価制度の試行、HPの改良と自力更新に向けたスキルアップ 等

【実績】5者 (参加のべ96名)

3 事業費

4,813千円



【集合研修】
「JLCを現場で活かす」

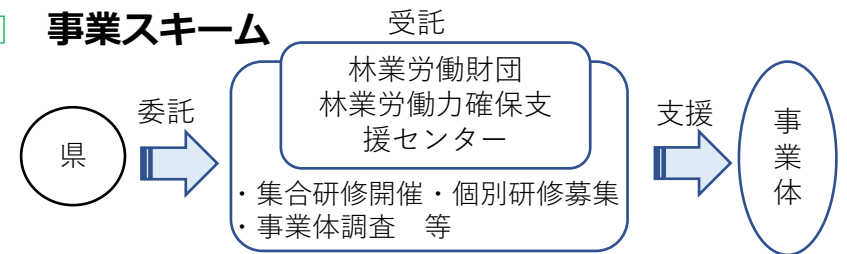


【個別研修】
自社保有機材での
メンテナンス研修



傾斜付伐倒練習
機の導入

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 事業実施前に、林業事業体が抱える課題について、聞き取り調査を行うことで、現場の課題や要望などの情報を把握した上で、集合研修プログラムを企画、実施している点
- 各事業体への個別研修については、個々の課題に応じ、経営力向上・改善や、新規就業者の確保に向けた具体的内容について研修を実施した。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	185,794千円
②私有林人工林面積 (※1)	248,459ha
③人口 (※2)	2,688人
④林業就業者数 (※3)	2,098,804人

※1：「森林資源現況調査 (林野庁、H29.3.31現在)」より、

※2：「2015農林業センサスより、3：「H27年国勢調査」より